

4 婚姻

令和3年の婚姻件数は2,336組で、前年の2,398組から62組減少した。婚姻率（人口千対）は3.6で、前年と同じであった。

婚姻率の年次推移をみると、第1次婚姻ブームである昭和22、23年は高かったものの、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ、昭和33年には7.9まで回復した。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和46年には再び7.5まで上昇したが、その後は年々低下し、平成元年は4.4となった。平成元年以降はほぼ横ばいに推移していたが、近年は再び低下が続いており、令和3年は前年に引き続き、過去最低の3.6となった（図8）。

平均初婚年齢は夫が30.4歳、妻が29歳であり、晩婚化傾向が続いている（表7）。

図8 婚姻率の年次推移

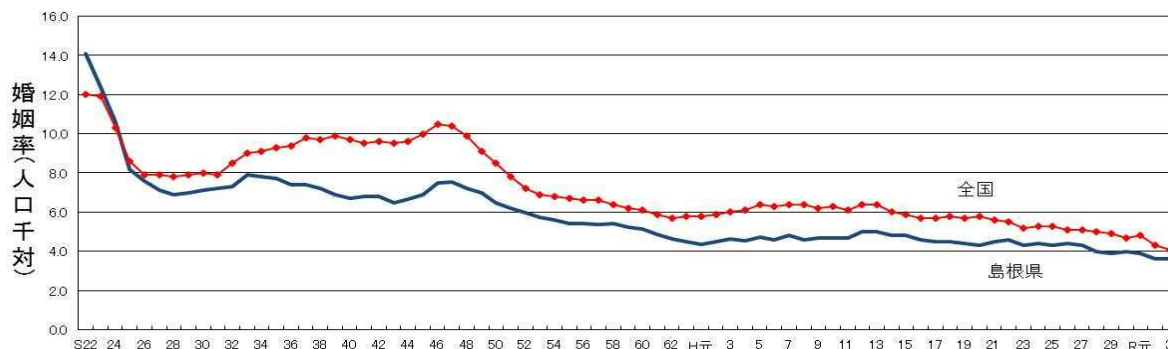


表7 平均初婚年齢の年次推移

	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成2	28.4	28.4	25.7	25.9
7	28.4	28.5	25.9	26.3
12	28.3	28.8	26.6	27.0
17	29.1	29.8	27.4	28.0
22	30.0	30.5	28.4	28.8
23	30.3	30.7	28.5	29.0
24	30.4	30.8	28.6	29.2
25	30.5	30.9	29.0	29.3
26	30.7	31.1	28.9	29.4
27	30.4	31.1	29.1	29.4
28	30.4	31.1	28.7	29.4
29	30.5	31.1	29.0	29.4
30	30.6	31.1	29.1	29.4
令和元	30.3	31.2	29.0	29.6
2	30.3	31.0	28.9	29.4
3	30.4	31.0	29.0	29.5

5 離婚

令和3年の離婚件数は863件で、前年の877組から14組減少した。離婚率（人口千対）は1.32で、前年と同じであった。

離婚率の年次推移をみると、昭和42年までは低下傾向にあったが、その後は増減を繰り返しつつ上昇し、平成15年には過去最高の1.71を記録した。その後増減を繰り返し、近年では緩やかに下降推移している。また、全国平均と比べると低くなっている（図9）。

図9 離婚率の年次推移

